

## No.6 沖島漁業協同組合



所在地：近江八幡市沖島町43  
 電話番号：0748-33-9511  
 HP・SNS：http://www.biwako-okishima.com



### 琵琶湖の恵みに感謝し、琵琶湖とともに生きる



沖島漁業協同組合は、島内の漁業全体を取りまとめる組織として発足し、島内世帯数の約85%の世帯が加入しています。令和4年4月時点で、正組合員数は71名、準組合員数は36名です。

組合では、琵琶湖漁業全体の約4割の漁獲量を揚げており、漁の形態としては、漁船で行うものが主で、そのほとんどは夫婦で行っています。小型定置網（えり）、沖曳網、刺網、沖すくい網漁などにより、アユ、ワカサギ、スジエビ、ニゴロブナ、ウロリ（ゴリ）、イサザ、ビワマスなど、様々な湖魚を水揚げしています。

## 私たちのSDGs・MLGs



### 恵み豊かな琵琶湖を次世代に

沖島漁業協同組合では、母なる琵琶湖に感謝し、琵琶湖の恵みを次世代に受け継いでいくために、環境保全活動の一環として、沖島周辺の湖岸清掃や入り網ごみの回収を行っています。

操業中の漁網に混入、あるいは意図せず船上に引き揚げたごみ（入り網ごみ）については、自主的に陸まで持ち帰った場合、漁業者自身に処理が任されることも多い中、令和3年5月、沖島に県下初の湖底ごみ回収ボックスが設置され、県や市と連携・調整の上、入り網ごみの回収を続けています。

恵み豊かな琵琶湖を次世代へと繋いでいくため、水辺も湖底も美しくあるよう、私たちにできることをしています。



▲回収された入り網ごみ  
 （プラスチックの包装材等）

▼湖底ごみ回収ボックス  
 （漁業会館横（倉庫側）に設置）



近年、沖島でも高齢化が進み、後継者問題は年々深刻化しています。先祖から受け継いできた沖島の漁業を守り、琵琶湖の恵みを未来へと繋いでいくため、若手漁師の育成、外来魚の捕獲や活用、種苗放流や資源管理型漁業など、琵琶湖とともにある暮らしの継承に努めています。  
 琵琶湖の恵みに感謝し、今日も漁に出ています。